

2016年1月5日

ガートナー社の調査で「リーダー」に6年連続位置づけられる ～マネージド・プリント・アンド・コンテンツ・サービス分野のマジック・クアドラントにて～

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)は、米国ガートナー社が発行した2015年マネージド・プリント・アンド・コンテンツ・サービス世界市場のマジック・クアドラント・レポート*1で「リーダー」に位置づけられました。

リコーは過去4年、マネージド・プリント・サービス(MPS)分野で「リーダー」として評価されてきましたが、昨年の調査から、評価対象がMPSの領域を超えてマネージド・コンテンツ・サービス(MCS)の領域まで広がり、リコーは昨年に引き続き同分野で「リーダー」としてガートナー社から評価をいただきました。

ガートナー社によると、コンサルティング、ソフトウェアをお客様に導入することで、ビジネスにおけるコミュニケーションを合理化・効率化・最適化するソリューションをMCSと総称しています。

リコーは、お客様のさらなる業務改革に貢献するために、ワンストップで提供するMPSの提案をしています。併せて、オフィスにおけるITインフラの企画から構築、運用管理、ビジネスプロセスの効率化を可能とするMCSの提供も行っています。さらに、リコーはお客様のご要望に合わせたサービス提案を行い、お客様の円滑なビジネスをサポートしています。

リコーは、これからもお客様の経営課題解決に向けたサービスをグローバルに提供し続け、ビジネス環境の中でお客様の業務改革に貢献いたします。

本ガートナー社の調査報告書に加え、リコーは以下の評価をいただいております。

・IDC “IDC MarketScape: U.S. 2015 Managed Workflow Services Hardcopy Vendor Assessment”*2 (リーダー):2015年11月

・Quocirca “Managed Print Services Landscape, 2015”*3 (グローバルマーケットリーダー):2015年8月

※ガートナー社は、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナー社は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

*1 Gartner, Inc., “Magic Quadrant for Managed Print and Content Services”, Ken Weilerstein and Tomoko Mitani, December 21, 2015

*2 IDC, “IDC MarketScape Criteria: 2015 Managed Workflow Services Hardcopy Vendor Assessment – Building on MPDS, doc #US40586715, November 2015”

*3 Quocirca Ltd., “Managed Print Services Landscape, 2015”

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2015年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,319億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。

<http://jp.ricoh.com/>